

第3回 愛南町  
**海業推進会議**

令和5年12月13日

～第2回会合以降の取組及びお知らせ～





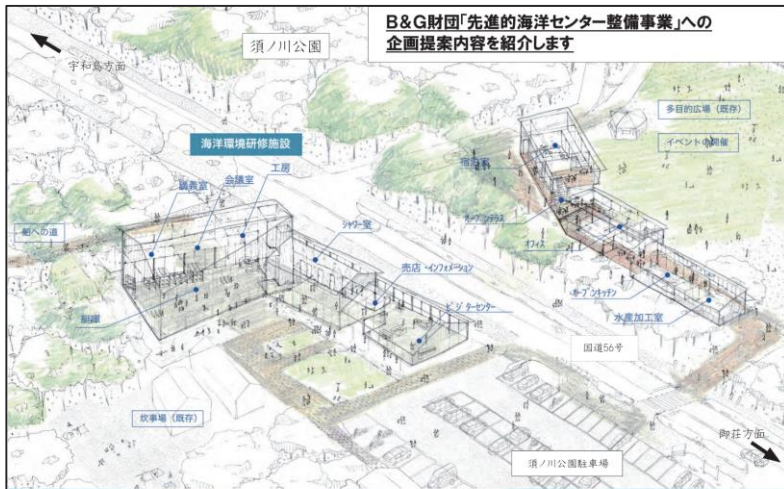
## 第2回海業推進会議(9月20日)以降の取組とお知らせ

- 10月19日 第2回 運営委員会
- 10月23日 先進的海洋センター整備事業「海のうつわ」説明会（愛南町役場主催）
- 10月27日 海業推進会議メンバーの情報交換会（田中(純)委員主催）
- 11月3日 地域漁業学会における発表（浜辺委員発表）  
「漁業・水産業を軸とした過疎地域まちづくりの可能性－愛媛県愛南町の海業を例に－」
- 11月7日～ 海業推進室SNS開設（Instagram、X(旧Twitter)）
- 12月7日 第3回 運営委員会
- 12月13日（本日） 第3回愛南町海業推進会議  
・
- 1月20日 第14回水産フォーラム  
「未来に向け水産業を守るために～海から森を考える～」  
・  
・
- 1月26 or 31日 第4回海業推進会議（予定）



# 第2回海業推進会議以降の取組（広報）

## ■ 先進的海洋センター整備事業 企画提案に係る住民説明会（令和5年10月23日）



B&G財団「先進的海洋センター整備事業」への企画提案内容を紹介します

### 海のうつつ

～海業を軸とした「海体験」と「海学習」による地域活性化～

※本事業は、B&G財団に採択された場合のみ、事業化を進めるものです。

町は、公益財団法人B&G財団が募集する「先進的海洋センター整備事業」に対し、須ノ川地区を整備候補地とした企画提案を応募しています。この事業は、採択された場合に最大10億円の助成金を受けることが可能となり、第3次愛南町総合計画の目標に掲げる「地域資源の有効活用」「観光資源の充実」「スポーツツーリズムの推進」を達成するための拠点となります。

また、「海興し」を目的とする本事業は、町が今年度から推進する「海業」と連携して事業を展開することで、産業振興と観光振興への相乗効果が期待されます。本事業が採択されるかどうかは、年明けにならないと分かりませんが、町の未来を考える上で重要な施策であると考え、10月23日(明)は、御荘文化センターにおいて住民説明会を開催しました。

審査の過程や事業化の際の条件整理によって内容は変わりますが、今回は、説明会で説明した企画提案書の内容を紹介します。



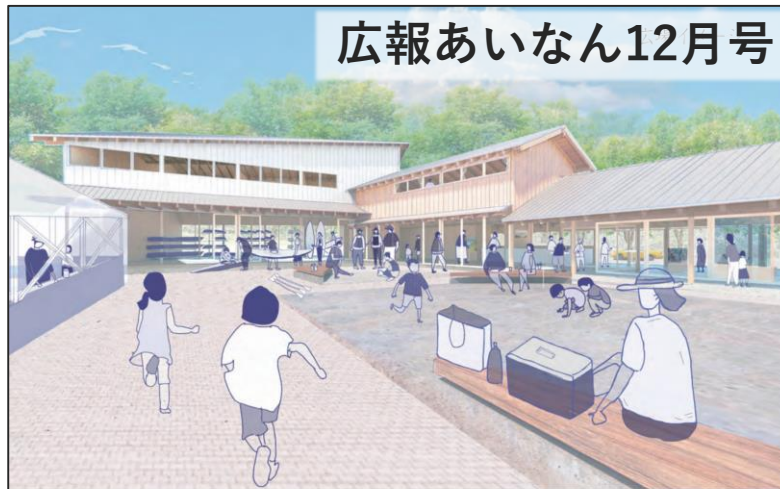
▲住民説明会には約50人が参加しました



「海体験」と「海学習」の場

地場産業活性化と地域交流の拠点

## 広報あいなん12月号より



### 01 事業の目的

町の海の美しさや厳しさを体験、学習する拠点を整備することにより、地域の活性化、地場産業の持続化、発展的な海洋環境教育の3つを軸とした交流人口の増加、地域所得の向上、海のファンづくり、未来の海洋人材の育成による「海興し」を図ります。

### 02 事業費(案)

- ▶施設建設費用:約7.3億円
  - ・海洋環境研修施設(延べ床面積846.1㎡)
  - ・海業・交流施設(延べ床面積387.6㎡)
- ▶ソフトプログラム費用:約2.0億円(初期費用含む)

### 03 提案のアピールポイント

町は、足摺宇和海国立公園として稀有な自然環境を有し、通年でマリンレジャーが体験できるとともに、漁業・養殖業の国内有数の基地でもあり、海と人間の付き合い方を多様な角度で提示できる強みを有しています。本施設は、この強みを国からモデル地区として選定された「海業」との連携により『海体験』と『海学習』プログラムに昇華させ「ここでしかできない体験と知見」を提供します。

### 5つの新事業

シーカヤック、SUPなどを収納する艇庫を有する先進的海洋センターを整備(海洋環境研修施設と海業・交流施設の2棟)し、一般来訪者を対象として次の5つの事業を展開することで、町の地域活性化を強力に進めます。

- (1) マリンアクティビティを核とした『海体験』事業
- (2) 海洋環境教育を核とした『海学習』事業
- (3) マリンレジャーと漁業の共存共栄関係の構築に向けた地場産業活性化事業
- (4) 海のコンシェルジュとなるビジターセンター運営事業
- (5) フィールド・イベント運営事業



# 第2回海業推進会議以降の取組（広報）

## ■ 海業推進室 SNS の開設（令和5年11月7日～）

使用するソーシャルメディア：Instagram及びX(旧Twitter)  
アカウント名：愛南町 海業推進室

### 《目的》

愛南町が推進している海業を発信し、「海業」というワードを浸透させていく。海業関連事業及び、愛南町の食、景観、観光を積極的に発信することで、利用者をつながりを作り、愛南町への愛着や興味を持っていただき海業推進に役立てる。

### 《発信情報の内容》

- ・ 愛南町の海業事業について  
（ぎょしょく、海業推進会議、イベント等）
- ・ 愛南町の食、景観、観光

### 《これまでの投稿》

- ・ 愛南町 海業推進室のアカウントについて
- ・ 外泊 石垣の里の景観
- ・ バロック真珠について（愛媛大学、東雲大学の学生祭に係る宣伝）
- ・ 「久良のぶり」販売促進

愛南 海業  
AINAN  
UMIGYO



Instagram QRコード



@UMIGYO\_AINANTOWN

X (旧Twitter) QRコード



AINAN

# 第3回海業推進会議以降のお知らせ

## ■ 第14回水産フォーラム（令和6年1月20日開催）

### テーマ【未来に向け水産業を守るために～海から森を考える～】

#### 《目的》

愛南町は漁業、養殖業が盛んな地域であり、未来に向けさらに水産業の活性化を図っていくために、新たな知識及び多方面からの意見を認識することを目的とする。また、愛南町水産業を守っていくためには、海の根源である森、川は、重要な資源であり今後も水産業を発展させていくために、できることは何か考えることを目的とする。

#### 《講演者》

NPO法人 森は海の恋人	理事長	畠山 重篤 氏
株式会社 モリアゲ	代表	長野 麻子 氏
経済産業大臣秘書官		岸本 吉生 氏



#### 《日時・構成》

開催日時：令和6年1月20日（土）開場13：00 開会13：30～

開催場所：愛南町役場3階大会議室

- ・第一部【森は海の恋人～漁師という立場から森について考える】  
13:40～14:40 畠山 重篤 氏
- ・第二部【森・川・海とのつながりの中で水産業に思うこと】  
14:50～15:50 長野 麻子 氏、岸本 吉生 氏
- ・第三部【質疑・意見交換会】16:00～16:50

